

2025年2月7日

液晶ディスプレイ用フィルム「コスモシャイン SRF®」生産能力を3割増強 つるがフィルム工場の設備を改造、2026年度量産開始へ ～最大3メートル幅の生産が可能、大型化ニーズに対応～

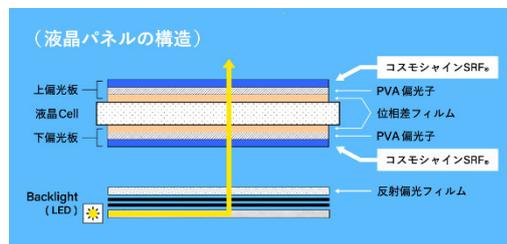
当社はこのほど、液晶ディスプレイなどの偏光子保護用超複屈折フィルム「コスモシャイン SRF®」の生産能力を3割増強するため、つるがフィルム工場(福井県敦賀市、敦賀事業所内)のPETフィルム製造設備を改造することを決定しました。2025年度中に増産体制を構築し、2026年度より改造した新設備での量産開始を目指します。新設備では、最大で3メートル幅の「コスモシャイン SRF®」の生産が可能。ディスプレイのさらなる大型化ニーズに対応します。



当社従来品フィルム(左)と「コスモシャイン SRF®」(右)との色むらの比較



つるがフィルム工場



一般的な液晶パネルの構造(模式図)

当社が2013年に上市した「コスモシャイン SRF®」は、液晶ディスプレイなどの偏光子保護用途として唯一のPET製のフィルムです。独自の製膜・素材技術と「超複屈折」という発想により、PETフィルム特有の着色(色むら)を解消。耐水性や耐久性に優れるPET製の「コスモシャイン SRF®」は、従来同用途で主流だったトリアセチルセルロースなど他の素材に対して、吸湿による画面の反りやゆがみが生じにくいことが高く評価され年々採用が拡大。現在、世界の液晶テレビ向け偏光子保護フィルム市場で約60%^{※1}のシェアを占めています。今後も、液晶ディスプレイ画面の大型化に伴い、同市場は2030年まで年率約3%^{※2}の成長が見込まれます。

当社は、かかる需要に対応するため、つるがフィルム工場のPETフィルム製造設備の改造を決定。速やかに「コスモシャイン SRF®」の生産能力の増強を図ります。改造後の新設備では、従来品より幅広の3メートル幅の「コスモシャイン SRF®」の生産が可能。偏光板メーカー顧客のさらなる大型化要請にも柔軟に対応しながら、さらなる採用の拡大を目指します。これにより、つるがフィルム工場の既存の1ラインと犬山工場の2ラインと合わせて、計4ラインで「コスモシャイン SRF®」の生産が可能。最大約3割の生産能力の増強を実現します。

2025年中期経営計画において、工業用フィルムを重点拡大事業に位置付ける当社は、「コスモシャイン SRF®」をはじめ、AIサーバーやデータセンター向けに需要伸長が見込まれる積層セラミックコンデンサの製造工程用離型フィルム「コスモピール®」や、燃料電池車や風力発電施設のモーター向けに展開するPEN(ポリエチレンナフタレート)フィルム「テオネックス®」など、当社独自の工業用フィルム製品により、お客様の幅広いニーズに対応していきます。

※1: 2025年2月7日時点、当社推定。

※2: 2025年2月7日時点、調査会社資料などをもとに当社推定。

以上

■お問い合わせ先

東洋紡株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
電話: 06-6348-4210 E-mail: pr_g@toyobo.jp